

# 愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	コーチング論		
担当者(Instructors)	木野村 嘉則	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

## ■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

この授業科目は、競技スポーツや参加型スポーツにおけるコーチングに関する様々な理論とその理論を応用した「コーチング論」を主たる内容として学習する。発達段階や年齢の段階に応じた運動指導にも配慮したコーチング論について考える。また、この科目では、一般的な理論とともに個人差に応じたコーチングについても学習する。

## ■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	講義形式にて行う。講義に際しては、授業内にて適宜課題に取り組んでもらう。また、前回課題の解説を用いた復習を授業に先立ち行う。

## ■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	この講義の目標	この講義で扱う内容を概説する	<input type="checkbox"/>
第2回	指導者の心構え・視点	指導者が視点として持つべきことを整理し、指導者が何を目指すのかを明らかにする	<input type="checkbox"/>
第3回	指導者に必要な知識と求められる資質	指導者が持つべき知識を概説し、求められる資質を説明する	<input type="checkbox"/>
第4回	コミュニケーション論	スポーツ場面で起きるコミュニケーションについて概説する	<input type="checkbox"/>
第5回	指導計画の立て方	指導計画を立てる際に考える必要のあることを説明する	<input type="checkbox"/>
第6回	スポーツ事故におけるスポーツ指導者の法的責任	指導者がどこに責任を負い、どうふるまうことが求められるのかを説明する	<input type="checkbox"/>
第7回	スポーツと人権	指導者および選手が有する権利について倫理的な側面を含めて説明する	<input type="checkbox"/>
第8回	技能の学習理論基礎	技能学習の過程について、指導者および選手におきる現象を説明する	<input type="checkbox"/>
第9回	技能習得過程での問題点とその対処法	技能学習場面で起きる問題点を説明する	<input type="checkbox"/>
第10回	コーチングの基礎理論(1) コーチの役割とは	コーチの役割を確認する	<input type="checkbox"/>
第11回	コーチングの基礎理論(2) コーチングに必要な知識	コーチに必要な知識を説明する	<input type="checkbox"/>
第12回	コーチングの基礎理論(3) コーチング実践の検証	コーチの実践を評価する方法を説明する	<input type="checkbox"/>
第13回	ミーティングの方法	ミーティングの方法を説明する	<input type="checkbox"/>
第14回	スポーツ活動と安全管理	安全管理として行わなければならないことを説明する	<input type="checkbox"/>
第15回	この講義のまとめ	講義のまとめを行う	<input type="checkbox"/>

## ■授業時間外学習(予習・復習)の内容(Preparation/review details)

授業内容に関連した動画や関連した記事を用いて、各回の授業テーマについての自身の関心をまとめたくて授業に臨むこと(2時間程度)。授業後は授業の復習をするとともに、前回のレポートの解説と自身の解答を照らし合わせ、関連図書を用いて授業テーマ、課題についての復習を行う(2時間程度)。

## ■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

毎回の授業にて前回の小テストの解説および復習を行う。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)		
区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019人間健康DP1	十分な成果が期待できる具体的な指導法の基礎的な知識を説明できる 実際の指導事例に対して、授業内容を基に多面的な観点からディスカッションできるようにする

■成績評価(Evaluation method)				
筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			100%	
<b>授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)</b> 毎回の授業にて小テストを行う。その日の授業内容に関連した論述問題に解答する。				

■テキスト(Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	適宜資料を配布する	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	日本コーチング学会『コーチング学への招待』大修館書店	
2	平野 裕一（編集），土屋 裕睦（編集），荒井 弘和（編集）『グッドコーチになるためのココロエ』培風館	
3	レイナー・マートン『スポーツコーチング学』西村書店	
4		
5		